

平成22年度事業

経営指導部

1. 畜産経営技術指導事業

畜産経営技術高度化推進事業をはじめとする畜産経営技術指導等を推進するとともに、畜産関係機関団体との連携を図りながら、畜産振興支援業務等を実施し、地域畜産の振興を図った。

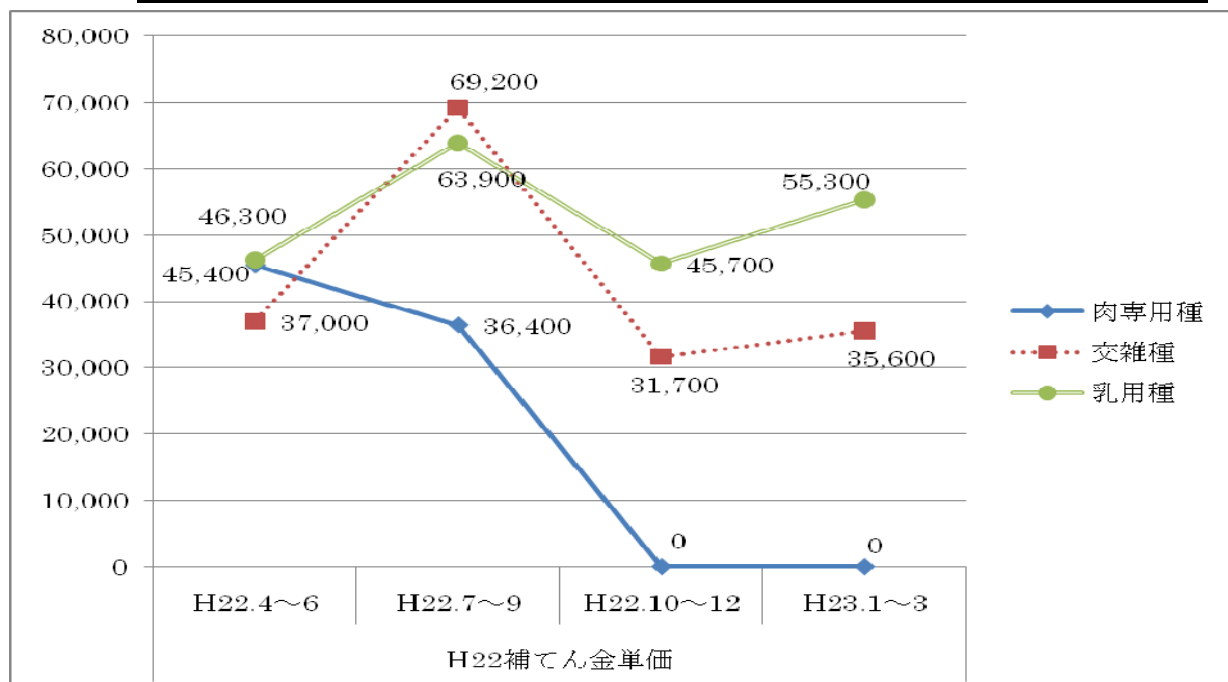
2. 肉用牛肥育経営安定特別対策事業

契約生産者の積立金および国の補助金によって肥育安定基金を造成のうえ、四半期ごとの肥育牛1頭当たりの粗収益（全国平均）が生産費（全国平均）を下回った場合に、契約生産者に対して、その差額の80%の補てん金交付を行うものである。

品種区分は3品種とし、肥育牛1頭毎のデータの管理、基金管理および補てんを行った。

ア、四半期別平均粗収益、平均生産費および補てん金単価の推移（単位：円/頭）

区分		H22. 4～6 月	H22. 7～9 月	H22. 10～12 月	H23. 1～3 月
肉専用種	平均粗収益	822,668	820,208	864,080	833,140
	平均生産費	879,536	865,762	849,405	830,541
	補てん金単価	45,400	36,400	0	0
交雑種	平均粗収益	520,946	509,725	570,435	557,836
	平均生産費	567,292	596,305	610,073	602,424
	補てん金単価	37,000	69,200	31,700	35,600
乳用種	平均粗収益	312,714	295,019	299,167	304,217
	平均生産費	382,686	382,350	370,450	373,383
	補てん金単価	46,300	63,900	45,700	55,300



イ、平成22年の契約生産者数、事務委託団体数、基金造成頭数及び補てん金交付頭数等

区 分	契約生産者数	事務委託団体数	基金造成頭数	補てん交付		
				延戸数	頭 数	金 額
肉専用種	64名	10団体	5,134頭	80戸	2,305頭	94,693,000円
交雑種			2,046頭	45戸	2,360頭	102,283,500円
乳用種			717頭	17戸	669頭	34,857,700円
計	64名	10団体	7,897頭	142戸	5,334頭	231,834,200円

※平成23年5月交付の補てん金（平成22年度第4四半期）を含む。

ウ、平成22年の地域基金積立額

(単位：円)

区 分	肉専用種	交雑種	乳用種	計
国	308,040,000	170,636,400	32,265,000	510,941,400
契約生産者	102,680,000	56,878,800	10,755,000	170,313,800
計	410,720,000	227,515,200	43,020,000	681,255,200

※平成23年5月入金の補助金（平成22年度第4四半期）を含む。

3. 畜産環境保全特別指導事業

家畜排せつ物の処理および管理にあたって、畜産経営者の支援指導を行った。

区 分	回数および戸数	備 考
指導・啓発検討会の開催	1回	・1回で5名出席
家畜排せつ物処理技術の啓発・普及のための講習会の開催	4回	・4回で30名出席
生産者等に対する調査・指導	22戸	・22戸（12堆肥センターおよび10森林組合）の調査・指導

4. 国産飼料資源活用促進総合対策事業

国産飼料の一層の生産・利用拡大を図るために、放牧集団が実施する家畜衛生対策等の共同活動や、放牧のための生産施設機械の整備等放牧利用を推進する取り組み等に対して補助した。

区 分	回数等	備 考
1. 事業推進会議の開催	1回	24名出席
2. 放牧集団等が実施した共同活動 (1)ダニ駆除剤塗布 (2)子牛下痢ワクチン接種	4,825頭 78頭	実施放牧集団 島後和牛改良組合 知夫村和牛改良組合 海士町和牛改良組合 西ノ島町和牛改良組合
3. 生産施設機械の整備 (1)牧柵の設置	1,000m	実施放牧集団 西ノ島町和牛改良組合

5. 畜産特別資金推進指導事業

畜産特別資金借受者の、経営合理化および改善の進捗状況等を把握するための現地調査および助言・指導を行った。

区 分	回 数	備 考
都道府県支援推進協議会の開催	2回	・2回で延10名出席
経営改善計画作成・見直しおよび達成指導	延12回	・借受者実9戸に対して、延12回で延26名が助言・指導
借入者の経営改善のための指導資料作成	28部	・経営改善計画作成・見直しおよび達成指導結果の取りまとめ等

6. 地域畜産ふれあい体験交流活性化事業

畜産経営体が主体性をもって消費者とのふれあい交流を行うための体制を整備した。

区 分	回 数	備 考
地域活性化会議	4回	・4回で延13名出席
体験・交流会開催	1回	・1回で41名出席
調理教室開催	3回	・1回で83名出席
普及・啓発広報資料作成	26種類	<ul style="list-style-type: none"> ・パネル8種類 ・チラシ5種類 ・教材7種類 ・レシピ5種類 ・報告書1種類 ・HP更新12回

7. 畜産経営技術高度化推進事業

酪農経営データベースの活用・利用促進の支援指導を行った。

対象戸数	支援機関	提供した情報の具体的内容
2戸	社団法人島根県畜産振興協会	酪農経営データベースの活用・利用促進 牛郡検定成績の活用方法

8. 改良増殖技術実態調査事業

改良増殖面からみた飼養戸数および頭数などについて、実態調査を行った。

区 分	回 数	備 考
推進会議の開催	1回	・島根県および社団法人島根県畜産振興協会
実態調査・とりまとめおよび資料作成	1回	・平成22年2月1日現在の実態調査

9. 畜産経営改善のための支援・表彰事業（畜産経営技術等支援・表彰事業）に係る

地域畜産支援事業

社団法人中央畜産会主催の畜産経営改善技術のための支援・表彰事業（畜産経営技術等支援・

表彰事業)にかかる畜産大賞 地域畜産振興部門に対して、対象事例を次のとおり推せんした。

区 分	内 容	備 考
対象事例	津和野町 農事組合法人京村牧場 代表 京 村 真 光	
事例のタイトル	「さぶみ牧童探検隊」を始めとした地域活性化 －生産の環 食の環 伝承の環 繰返す環 人の環 を大切に－	
入 賞	畜産大賞 地域畜産振興部門 優良賞受賞	

10. 貸付事業指導等事業

畜産近代化リース協会より、貸し付けが行なわれている設備・機械器具および車輛について、利活用・保守管理状況の確認調査を行った。

区 分	箇所数	基 数	備 考
確認調査	7 箇所	10 基	

11. 馬事関係

(1) 種雄馬管理

隠岐どうぜん農業協同組合に対して、社団法人日本馬事協会の種雄馬管理の登録事務を行った。

(2) 馬事畜産振興推進事業

公営競馬の健全な運営・発展に寄与し、畜産振興の基盤の強化に資するため馬事振興を図った。

内 容	回 数	備 考
・地方競馬開催予定表の頒布	4 回	四半期に 1 回
・福山市営競馬にて、中国地区畜産会会長杯酔水島特別競走の実施	1 回	
・福山市営競馬への競馬観戦ツアーの実施	1 回	

12. 畜産経営者間における取り組みの支援

生産者団体等の事務局業務受託を通じて、畜産経営者間における取り組みについての支援を行った。

区 分	団 体 名	備 考
畜産経営者間における取り組みの支援	島根県牛乳普及協会	
	島根県乳業協会	
	島根県養鶏協会	
	島根県鶏卵販売農業協同組合	
	島根県馬事畜産振興協議会	
	しまね畜産女性ネットワーク	

13. 参考図書の斡旋

中央畜産会の月刊誌「畜産コンサルタント」、その他参考となる図書の購読を斡旋した。